

建設マスター顕彰者の事例

(参考資料 2)

○大庭 浩文(48歳、東京、(株)サンオキ)

・高校卒業後、30年間にわたり、内装仕上げ工事
事業作業に従事。

(1級内装仕上げ施工技能士を保有)

- ・技能検定員として、積極的に参加。
- ・広く後進の指導教育を行い、技能士育成に尽力。
- ・現在まで無事故で活躍、安全管理の表彰多数。

☆代表工事

和光国立埼玉病院

いすゞ自動車藤沢工場



○田方 昭雄(48歳、東京、金子架設工業(株))

・高校卒業後、とび工として技術・技能を修得。
(とび1級技能士を保有)

- ・平成4年に職長となり、部下から慕われている。
- ・元請けの信頼も厚く、現場の指名も多い。
- ・職業訓練指導員の免許保有。
- ・厚生労働大臣から、安全優良職長顕彰を受賞。

☆代表工事

東京ファッションタウン

立川駅前北口再開発

